皮膚・排泄ケア認定看護師の紹介

第６５回近畿地区国立病院看護学会
Ｅ群ポスター賞受賞！！

皮膚・排泄ケア認定看護師
朝香　裕子　外来副看護師長

学会の感想
「多職種連携による褥瘡治癒を目指した活動～皮膚・排泄ケア認定看護師の役割～」というテーマでポスター発表を行いました。褥瘡治療における栄養管理・体圧管理・局所管理をWOCN（皮膚・排泄ケア認定看護師）が中心となり計画し、多職種連携と病棟看護師がケアを継続できるような関わりを行ったことで早期治癒に至った症例について発表しました。今後も、活動の成果を発表することができるよう取り組んでいきたいと思います。

専門領域　皮膚・排泄ケア研修①
「オムツの当て方」

皮膚・排泄ケア認定看護師（WOCN）を目指した理由
1年目の時に泌尿器科に配属され、尿路ストーマを造設する患者を受け持ちました。ストーマ造設後の生活に対する不安が大きく、患者との関わりの中で専門的知識・技術をもつ先輩WOCNの介入は、患者の不安軽減やその人らしい生活を送っていくための支えになっていることを実感しました。
その時に皮膚・排泄ケア認定看護師になりたいと思うようになり、関連するセミナーや学会に参加し資格を取得するなどWOCNになるための準備を行い、9年目で認定看護師教育課程に入学することができました。

令和４年京都医療センターから敦賀医療センターに異動
私は、同じ近畿ブロックの京都医療センターから異動して来ました。ライフイベント等に合わせて施設間異動ができることは、国立病院機構の強みだと感じています。

現在は院内の褥瘡予防に力をいれています。
今後はこの褥瘡を予防を地域に広げていきたいです。